

# とうほく せんげん 東北 J C 宣言

われわれは

あら か ち そうぞう きしゅ  
新たな価値を創造する旗手として

とうと ゆい せいしん よ さ  
尊い「結」の精神を呼び覚まし

みらい き ひら ちか  
かつてない未来を切り拓くことを誓う

## 【東北 J C 宣言】

東北各地の青年会議所は、地域における様々な問題を解決し、明るい豊かな社会の実現に向けた運動を展開しております。地域を想い、地域の実情に目を向けながら活動する青年会議所のそれぞれが抱く熱意を共有し、連帯感から生まれるスケールメリットを発揮することで、計り知れない力へと繋がる、限りない可能性を有しているのです。

「東北 J C」とは、東北地区内すべての青年会議所が「東北は一つ」という想いを共有する形を指します。同じ志を持ち行動する全ての青年会議所が、地域に暮らす人々と共に、相互の信頼と尊敬から生まれる「結」の精神を育みながら力強い歩みを進めるため、ここに「東北 J C 宣言」を定めます。

## 【われわれは】

東北地区内すべての会員会議所会員を指します。

## 【新たな価値を創造する旗手として】

戦後日本は、先人たちの努力により高度経済成長期を経て世界トップクラスの経済大国へと成長を遂げました。しかし、社会を取り巻く環境の変化に伴い、より良い地域づくりへの取り組みに求められる価値観も変わります。各地で育んできた地域の文化を持続発展させながら、相手を思いやり、公共の幸せを願う気持ちを最上と捉える「新たな価値」を

創りあげ、困難な社会に対し、前向きな姿勢で取り組む必要があります。

旗手とは先頭に立って活躍する者であり、地域住民を先導し牽引するため、東北の J A Y C E E が地域のリーダーである使命感を奮い立たせながら、次代を築き上げる旗手としての気概を強く持ち行動することが大切です。

【尊い「結」の精神を呼び覚まし】

人は誰しも相手を思いやり助け合う「結」の精神を心の奥に持っており、それはきわめて価値の高いものです。特に東北地方は昔から労働力や食物を貸し借りし、互いに協力し合いながら暮らし、生きるための「結」の精神が深く根付いており、東北に暮らす人々のアイデンティティとして秘めています。また、震災を受け厳しい状況下で、被災した人びとの行動により、東北には「結」の精神が確かに根付いていると誰もが改めて認識を強くしました。J A Y C E E が展開する運動により、「結」の精神の大切さを確認しあうことで、新たな価値が広く浸透していきます。

【かつてない未来を切り拓くことを誓う。】

思いやりに満ち溢れ、自ら主体性を持って地域を良くしようとする気持ちを最も価値あるものとして捉える人々が各地で多くなるに従い、未来への展望が開けていきます。未来は誰も経験したことはありません。しかし、やがて来る未来を待つのではなく、今を変えることで未来を目指すべき方向へ変えることは出来ます。最も大切なことは目指すべき未来の実現のために、一人ひとりが出来ることを行っていくことです。

一人ひとりに出来ることは溢れています。この時代に生きる意義をそれぞれがしっかりと認識し、今をどう生き抜かなければならないかを真剣に考え、責任世代としての役割を果たすことを誓い合うことで、東北各地の青年会議所運動がより力強く推進されるのです。